

下水道事業の経営状況をお知らせします

下水道事業会計の財政公表



若山浄化センター

問い合わせ 下水道グループ (☎059052)

事業の概況

下水道事業は、汚水を適切に処理し、衛生的な生活環境を確保すること
もに、大雨などによる浸水災害の発生を防ぐことを目的に、利用者の皆さ
んからの使用料や市の一般会計からの負担金などにより、公共下水道や浄
化槽の整備を行っています。

市の下水道事業は、平成26年度から企業会計に移行し、一般会計との適
切な経費分担の下、独立採算を原則に運営しています。

今号では、下水道事業の平成26年度上半期における経営状況についてお
知らせします。

市の下水道事業では、公共下水道
事業と個別排水処理施設事業を行っ
ています。

このうち、公共下水道事業は、利
用者の皆さんが排出する汚水を受け
入れるため、主に市街地で汚水管渠
や終末処理場（若山浄化センター）
の整備とともに、雨水の浸水対策と
して、雨水管渠の整備を実施してい
ます。

個別排水処理施設事業では、公共
下水道事業で汚水管渠を整備しない
地域において、市民の皆さんの希望
に応じて、各家庭に浄化槽を整備し
ています。

平成26年9月末時点における公共下水道の整備状況

区分	平成26年 3月末	平成26年 9月末	平成26年度 上半期増減
水洗化人口	41,846人	42,196人	350人
水洗化率	86.4%	87.1%	0.7%

※水洗化人口は下水道計画区域内の水洗化人口、水洗化率は水洗化人口を平成26年3月末時点の下水道供用開始人口（48,460人）で除した数値です。

平成26年9月末時点における浄化槽の設置基数

区分	平成26年 3月末	平成26年 9月末	平成26年度 上半期増減
設置基数	58基	61基	3基

※設置基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含みます。

【収益的収支】

(単位：千円)

収入	科目	予算額	執行額	執行率
	営業収益	683,511	361,962	53.0%
	下水道使用料	640,187	318,695	49.8%
	一般会計負担金	43,220	43,220	100.0%
	その他	104	47	45.2%
営業外収益	1,180,468	768,943	65.1%	
	一般会計補助金	800,807	763,793	95.4%
	長期前受金戻入	356,883	0	0.0%
	その他	22,778	5,150	22.6%
	合計	1,863,979	1,130,905	60.7%
支出	科目	予算額	執行額	執行率
	営業費用	1,504,223	156,586	10.4%
	職員給与費	82,487	26,461	32.1%
	施設管理費	342,073	116,186	34.0%
	減価償却費	1,002,927	0	0.0%
	その他	76,736	13,939	18.2%
営業外費用	435,615	200,969	46.1%	
	支払利息	410,744	200,969	48.9%
	その他	24,871	0	0.0%
特別損失ほか	5,641	5,631	99.8%	
	合計	1,945,479	363,186	18.7%

【資本的収支】

(単位：千円)

収入	科目	予算額	執行額	執行率
	企業債	856,400	0	0.0%
負担金	48,829	37,882	77.6%	
	受益者負担金・分担金	28,145	17,198	61.1%
	一般会計負担金	20,684	20,684	100.0%
補助金	316,561	74,961	23.7%	
	一般会計補助金	74,961	74,961	100.0%
	国庫補助金	241,600	0	0.0%
	合計	1,221,790	112,843	9.2%
支出	科目	予算額	執行額	執行率
	建設改良費	711,469	404,732	56.9%
企業債償還金	1,115,021	555,703	49.8%	
その他	1,000	0	0.0%	
	合計	1,827,490	960,435	52.6%

経理の状況

下水道事業の予算は、施設の維持管理などを行ったための『収益的収支』と、新たな施設の整備や既存施設の更新を行ったための『資本的収支』に分かれています。平成26年度上半期における各収支の予算執行状況は次のとおりです。

～下水道の使用に当たっては～

▶ 下水道が整備されたら

現在、浄化槽を設置している方を含め、下水道に接続しなければいけないことになっています。

▶ 工事の申し込みは指定店へ

排水設備設置工事は、『登別市下水道排水設備工事指定店』（現在53社）でなければ施工することができません。

▶ ルールを守って上手に使いましょう

- 水洗トイレには専用の紙以外流さないでください。
- 詰まりの原因となりますので、台所から食用油、野菜くずなどを流さないでください。
- 油や薬品、灯油を流さないでください。
- シンナーやガソリンなどは下水道管の中で爆発する恐れがあるので、流さないでください。
- 雨水や雪を下水道管に入れないでください。
- 排水管は定期的に点検・清掃をしましょう。

平成26年度上半期における損益計算書(単位：千円)

科目	収益/費用	損益
営業収益	342,028	
下水道使用料	298,761	
一般会計負担金	43,220	
その他	47	
営業費用	648,547	
職員給与費	26,457	
施設管理費	107,641	
減価償却費	501,464	
その他	12,985	
営業利益		▲ 306,519
営業外収益	947,385	
一般会計補助金	763,793	
長期前受金戻入	178,441	
その他	5,151	
営業外費用	200,970	
支払利息	200,970	
その他	0	746,415
経常利益		439,896
特別損失ほか	5,631	▲ 5,631
期間純利益		434,265

※減価償却費及び長期前受金戻入は、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上しています。

損益計算書は、収益的収支から仕入れや売り上げに係る消費税を控除して作成するものであり、その期間の企業の経営成績を表しています。下水道事業自体の経営成績を示す営業利益は、約3億円のマイナスとなつていますが、これに営業外損益、特別損失などを加えた純利益は約4億円のプラスとなつています。